

政策	41 医療体制の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
基本施策目的	身近な医療から救急医療まで様々な段階の医療を受けられる環境が整っている。 国民健康保険制度や後期高齢者医療制度の健全な運営が図られている。						
成果指標	地域医療についての市民満足度 救急車が病院に受入照会をした時に、1回目の照会で受入した割合(産科・周産期、小児を除く重症以上傷病者)						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定					60.00
		実績					
	成果指標2 [%]	予定	79.20	79.20	79.20	100.00	100.00
		実績	71.90				
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	22,733,594	0	0	0	0	
	実績	21,722,924	0	0	0	0	
内部評価	貢献度	基本方針が目指す姿である「健康で生きがいを持てるまちづくり」を進める上で、医療体制の充実を図るための本基本施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	市民満足度の調査は平成28年度に実施予定であるが、下位単位施策の目標である国保税収納率の向上や医療福祉モールへの医療機関の誘致等により成果は上がってきている。					
	課題	とちぎメディカルセンターの施設整備等に合わせて救急医療体制の再編を図っていくことから、事業の早期完了が必要となる。					
	取組方針	救急医療体制の確保や社会保険の健全運営により、医療体制の充実を図っていく。					
外部評価	<p>医療機関に止まらず在宅医療や訪問看護など医療を安心して受けられる体制は、市民生活にとって必要不可欠であり、これらの役割分担を明確化し医療体制の充実を図ることは必要である。併せて、充実した医療体制を広く市民に周知し十分活用できるよう啓発に努めることが重要である。</p> <p>成果指標2「救急車が病院に受入照会をした時に、1回目の照会で受入した割合」については、とちぎメディカルセンターの施設整備が完了するまで目標数値を固定しているが、各年度の目標数値にこだわらず創意工夫により実績値の向上に努め、医療体制の充実を図るべきである。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	4101	地域医療の充実				1,515,871	100
	4102	救急医療体制の充実				154,424	100
	4103	社会保険安定運営				20,052,629	100